

2023年7月2日

課題名：経皮的左心耳閉鎖術とアブレーション治療の両方を受けている心房細動患者の  
患者背景と臨床転帰

◆研究の目的と概要◆

当院では、経皮的左心耳閉鎖術とアブレーション治療の両方を受けている心房細動患者さんについて、患者さんの背景と入院経過と治療終了時の結果を調べています。本研究では、心房細動に対する至適な経皮的左心耳閉鎖術・アブレーション治療の組み合わせや、両治療の至適なタイミングを明らかにすることを旨とし、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2019年9月から、2023年6月までの間に、経皮的左心耳閉鎖術を受けており、その治療の前後2年以内に心房細動アブレーションを受けている方。

◆研究に使用される情報◆

性別、年齢、身長、体重、既往歴、現病歴、前治療、血液検査、心電図、心エコー所見、CT所見、手術記録、手術所見、合併症、術後のイベント（2023年6月までの転帰、出血イベント、脳梗塞・症候性塞栓症イベント、心不全入院、全死亡イベント）

◆情報の研究利用開始日◆

2023年8月1日以降

◆研究方法◆

本研究は診療録（カルテ）を利用します。（2017年9月～2023年6月まで分）

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。なお、すでに解析済みの場合は、ご意向に沿えないこともありますのでご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
循環器内科 研究責任者 茶谷 龍己

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）  
（★を@に変換して使用してください）



この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明